

謝 辞

卒業論文以来、10年以上もの長きにわたって懇切なご指導をいただいた中川武教授に心から深謝の意を表します。

本論文の審査においては、石山修武教授、古谷誠章教授に副査をお引き受けいただきました。ここに記して厚くお礼申し上げます。

1996年から1998年にかけて、インドネシアで調査を行った際には、ガジャ・マダ大学の教授を務めておられた故パルモノ・アットマディ先生に数々のご助言をいただき、多大なるご協力を賜りました。そしてインドネシアの建築史研究の開拓に絶大な功績を残された故千原大五郎先生には、貴重なご指導と、折に触れて暖かい励ましのお言葉をいただきました。ここにお二人のご冥福をお祈り申し上げるとともに、あらためて深く感謝の意を捧げます。

上記のインドネシア調査は、インペックス教育交流財団からの研究助成のもとに行われたものです。また現地の数多くの関連諸機関の方々には、資料の複写や閲覧にご助力いただき、また調査にあたって種々の便宜をはかっていただきました。ここに厚く感謝申し上げます。

そして私が試行錯誤を重ねている時、快くご相談にのって下さり、貴重なご教示をいただいた先輩諸氏、また議論に付き合ってくれた後輩諸氏にも心よりお礼申し上げます。

最後になりましたが、建築史に隣接する諸分野の学会や研究会などで発表の場を与えて下さり、それを通じて貴重なご助言をいただいた各位。建築の背後に潜在する宗教・信仰にかかる観念の問題に言及した本論文において、異分野からのさまざまな見解は、ことのほか貴重なものでした。記して謝意とさせていただきます。

2004年3月 小野 邦彦